

施策評価調書(24年度実績)

施策コード I-5-(2)

政策体系	施策名	循環を基調とする地域社会の構築	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	47
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおいた作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、商工労働部、土木建築部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	廃棄物の減量化・再資源化と適正処理の推進	大気・水環境・化学物質対策の推進

【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 県民1人あたりのごみ排出量(g/日)	①	H15	1,116	933以下(H23)	935(H23)	99.8%	904以下	876以下						
ii 一般廃棄物リサイクル率(%)	①	H15	16.7	21.7以上(H23)	21.1(H23)	97.2%	22.5以上	23.4以上						
iii 大分県リサイクル認定製品地方公共団体利用件数	①	H16	7	440	1,808	410.9%	460	500						
iv 産業廃棄物リサイクル率(動物のふん尿及び銹さいを除く)(%)	①	H12	31	40以上(H21)	55.6(H21)	139.0%	54.9	55.1以上						
v 光化学オキシダント環境基準達成時間率(%)	②	H16	95.2	97.2(H23)	95.9(H23)	98.7%	97.6	98						
vi 水質環境基準(BOD、COD)達成率(%)	②	H15	86	94(H23)	93.9(H23)	99.9%	96	98						
vii 生活排水処理率(%)	②	H16	58.6	68.2(H23)	68.6(H23)	100.6%	70.6	73.1						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等		平均評価
i 概ね達成	住民啓発、地域活動の浸透等により、目標値を概ね達成している。なお、24年度実績が26年4月公表のため、24年度の目標値と実績は23年度の数値を記載している。		達成
ii 概ね達成	市町村の分別収集・処分・リサイクル体制が整備されてきており、目標値を概ね達成している。なお、24年度実績が26年4月公表のため、24年度の目標値と実績は23年度の数値を記載している。		
iii 達成	新たに認定製品が加わったことや、各自治体が認定製品を活用する動きが見られたために、目標値を上回ることとなった。		
iv 達成	建設材料及び肥料・土壌改良材とその原材料への再生利用実績が高く、目標値を達成している。今後、リサイクル率の高い建設廃棄物の割合が公共工事の減少で少なくなり、全体のリサイクル率も下がってくる予測であるため、H27の目標値以下にならないように施策を展開する。なお、調査は5年に1回実施のため、21年度の数値を記載している。		
v 概ね達成	光化学オキシダントの原因物質であるVOCを取り扱う事業所への立入指導等を行いVOC排出量削減に努めているが、大陸からの大気汚染物質の移流等の原因により、概ね達成になった。なお24年度実績が25年10月公表のため、24年度の目標値及び実績は23年度の数値を記載している。		
vi 概ね達成	工場又は事業場への排水監視や生活排水処理率等の向上により、基準年と比して水質が改善されてきたことから、目標値を概ね達成している。なお、24年度実績が25年10月公表のため、24年度の目標値及び実績は23年度の数値を記載している。		
vii 達成	市町村による生活排水処理施設の整備促進、市町村への財政的支援と指導・助言により、目標値を達成している。なお、24年度実績が25年9月頃公表のため、24年度の目標値及び実績は23年度の数値を記載している。		

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・巡回監視やスカイパトロールの実施に加え、経営実態の監視指導の徹底による産業廃棄物の不法投棄・不適正処理防止対策の強化を行った。
②	・水質汚濁防止法等に基づく第7次水質総量削減計画に基づき水質の向上に努めた。水生生物調査において、水質階級Ⅱ以上(比較的きれいな水)の地点の割合が9割を超えている。(H23: 92.5%)

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	県外産業廃棄物対策事業	96,241	継続	94
	森と海をつなぐ環境保全推進事業	1,466	継続	95
②	地域給水施設整備支援事業	34,000	終了	93
	生活排水処理施設整備推進事業	328,545	継続	207

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○ごみゼロおおいた作戦大分県民会議廃棄物・大気・水環境部会(H24.10)</p> <p>・由布に光化学オキシダントの固定局の設置をしてほしい。</p>	
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、経済の状況によっては、不法投棄の増加が懸念されるため、引き続き監視活動の強化を行う。 ・市町村や環境省地方環境事務所と緊密に連携し、早期発見による未然防止及び早期対応による拡大防止の取組を一層推進する。 ・平成24年度に策定した大気測定局の再配置検討方針を踏まえ、光化学オキシダント(光化学スモッグ)の広域汚染に対応するための測定局の新設・移転の検討を進める。